

こども安全対策分科会

課題1	<乳幼児期> ・0～3歳の救急搬送件数が多い ・養育者のヒヤリハット経験が多い	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
養育者への啓発	<p>① 実施者・協働者 区役所、保育施設、地域子育て支援拠点、地域の訪問員、分科会委員</p> <p>② 対象 主に0歳から3歳児の養育者</p> <p>③ 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故予防啓発用のクリアファイルやリーフレットを配布した。 ・地域育児教室での保健師によるワンポイントアドバイスを実施した。 ・乳幼児健診時に事故予防チェックリストを配布した。 ・事故予防に関する養育者向けアンケートを実施した。 <p>④ 過去一年間の改善点 養育者向けアンケートを、新たに3歳児についても実施した。 (4か月、1歳6か月は継続実施)</p>	<p>配布数 710部、815部</p> <p>参加者数 321人</p> <p>配布数 2,569人</p> <p>4か月児養育者 146人</p> <p>1歳6か月児 養育者 155人</p>

課題2	<学齢期> 小学校内で起きた事故は「休憩時間」に発生することが多い	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
子どもへの注意喚起（KYTの実施）	<p>① 実施者・協働者 子ども会、分科会委員、区役所</p> <p>② 対象 主に小学生、KYT指導者（地域の方）</p> <p>③ 実施内容 ・子ども会主催のKYT指導者育成講習会を実施した。 ・分科会委員がKYT講習会を体験する機会を設け、それぞれの所属団体の取組への活用を検討した。 ・子ども会を中心にイベント開催時に合わせて、KYTを実施した。</p> <p>④ 過去一年間の改善点 子ども会で実施しているKYTを、さらに地域へ広げていくために、分科会委員たちが情報共有を行った。（2017年度、市立小学校に設置されている放課後を過ごす施設でのKYT実施へ向け調整）</p>	<p>参加者：50名</p> <p>実施回数：1回</p> <p>実施回数：2回 参加児童数：80人</p>

課題3	<p style="text-align: center;">＜学齢期＞</p> <p style="text-align: center;">「怖い人と出会う」のは家や学校の周辺である</p>	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
地域の住民による見守り	<p>① 実施者・協働者 地域住民、保護者（PTA）、区役所、分科会委員</p> <p>② 対象 主に小学生、中学生</p> <p>③ 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や保護者が登下校時の通学路の安全見守りを行った。 ・「こども110番の家」の登録を呼びかける活動を行った。（新入生保護者説明会や地区懇談会など） ・小中学校であいさつ運動を実施、子どもたちが地域行事に参加した。 ・少年補導員によるサイバー教室やネットサミットを実施した。 ・安全安心な地域づくりに関する学校（児童生徒向け）アンケートを実施した。 <p>④ 過去一年間の改善点 取組の効果を検証するため、子どもたちへのアンケートを実施した。（地域の大人との「顔の見える関係づくり」が進められ、安全安心な地域であると感じているかを確認した。）</p>	<p>参加者数： 1,700人</p> <p>登録者数： 2,376軒</p> <p>実施回数： 1回</p> <p>アンケート回答者数： 小学5年生 248人 中学2年生 230人</p>

スポーツ安全対策分科会

課題1	<全年代> スポーツ活動時の準備運動不足、技術不足	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
予防講習会の開催	<p>① 実施者・協働者 栄区体育協会、栄区スポーツ推進委員連絡協議会、栄区青少年指導員協議会、さわやかスポーツ普及委員会、NPO法人さかえスポーツくらぶ、スポーツ安全対策分科会</p> <p>② 対象 分科会構成団体、栄区民</p> <p>③ 実施内容 各団体において、研修会等を実施し、分科会構成団体から地域へ広げていく取組を実施した。</p> <p>④ 過去一年間の改善点 分科会企画講習会の対象を、分科会構成団体だけでなく、広く区民も対象に実施した。</p>	<p>実施回数： 5回（栄区体育協会主催研修会、栄区スポーツ推進委員全員研修会、栄区スポーツ推進委員連絡協議会主催講演会及びランニング教室、栄区青少年指導員全員研修会、スポーツ安全対策分科会）</p>

課題2	<20代～70代以上> 日頃の運動不足	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
ウォーキングの推進	<p>① 実施者・協働者 スポーツ安全対策分科会、区役所</p> <p>② 対象 分科会構成団体、栄区民</p> <p>③ 実施内容 ウォーキングポイントの配布促進のため、啓発チラシを配布した。</p> <p>④ 過去一年間の改善点 啓発チラシの配布により、歩数計配布数は順調に増加した。また、ウォーキングを実践している人の割合も5%増加した。</p>	<p>チラシ配布数： 5,500部</p>

交通安全対策分科会

課題1	<こどもの交通事故> 自転車事故への対策	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
自転車ヘルメット着用啓発	<p>① 実施者・協働者 交通安全対策分科会、区内小学校・保育園、スクールゾーン対策協議会、区役所</p> <p>② 対象 12歳以下の子ども及び保護者</p> <p>③ 実施内容 区内小学校・保育園に自転車ヘルメット着用を促す啓発チラシ（区内の自転車販売店と協力し、自転車の無料点検や、幼児・児童向け自転車用ヘルメット割引などのサービスが受けられる特典付き）を配布。各小学校のスクールゾーン対策協議会で、ヘルメット着用の必要性を説明。</p> <p>④ 過去一年間の改善点 モデル地点を設定し、改善の前後の変化を測定。平均速度・最高速度ともに改善がみられた。</p>	<p>チラシ配布数： 9,000部</p>

課題2	<こどもの交通事故> 登下校時の事故への対策	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
スクールゾーン対策	<p>① 実施者・協働者 スクールゾーン対策協議会、自治会・町内会、栄交通安全協会、栄交通安全母の会連絡会、各種団体の見守り隊、栄警察署、分科会委員、区役所</p> <p>② 対象 栄区内小学校（14校）</p> <p>③ 実施内容 各学校スクールゾーン対策協議会や交通安全対策分科会委員が、子どもたちが実際に使用している通学路を歩き、危険な箇所を確認。その後、協議会で協議・検討を行い、改善が必要な箇所を改善する。</p> <p>④ 過去一年間の改善点 特になし</p>	<p>スクールゾーン内の改善箇所数：83か所</p>

課題3	＜高齢者の交通事故＞ 自動車事故への対策	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
高齢者交通安全教室	<p>① 実施者・協働者 栄交通安全協会、栄交通安全母の会連絡会、栄区シルバーリーダー連絡協議会、栄警察署、分科会委員</p> <p>② 対象 65歳以上の高齢者</p> <p>③ 実施内容 高齢者向けの交通安全教室、免許の更新時等の際に、チェックリストなどを使用して、該当項目が多い高齢者に免許の返納を促す啓発を実施</p> <p>④ 過去一年間の改善点 特になし</p>	<p>高齢者向け交通安全教室実施回数・参加者：28回 930人</p> <p>高齢者による免許返納数：510件</p>

児童虐待予防対策分科会

課題1	<子育て中の親への支援・支援が必要な家庭の早期把握> 地域への虐待防止啓発・地域での見守り	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
さかえっ子の笑顔ひろげ隊	<p>① 実施者・協働者 主任児童委員・地域子育て支援拠点、区社会福祉協議会、分科会委員、区役所</p> <p>② 対象 地域住民、関係機関</p> <p>③ 実施内容 ・身近な地域に出向いて児童虐待防止の啓発や見守り活動の周知、子育ての差相談先の啓発活動実施 ・次世代育成のための『赤ちゃんふれあい体験』の開催</p> <p>④ 過去一年間の改善点 ・より効果的な啓発活動を実施するためのリーフレット作成。 ・赤ちゃんふれあい体験の対象者拡大。</p>	<p>啓発回数： 13か所 啓発活動対象人数： 1,703人</p> <p>赤ちゃんふれあい体験の実施：中学校2校、8名参加</p> <p>分科会（さかえっ子の笑顔ひろげ隊事務局会議）開催回数：5回</p>

課題2	＜子育て中の親への支援・支援が必要な家庭の早期把握＞ 地域での見守り	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
栄区虐待防止連絡会	<p>① 実施者・協働者 区役所</p> <p>② 対象 栄区児童虐待防止連絡会委員 ・民生児童委員、主任児童委員、学校関係者、幼稚園・保育園関係者、自治会・町内会関係者・医療機関、教育委員会、児童相談所、分科会委員他 24 団体、40 名で構成</p> <p>③ 実施内容 ・児童虐待の現状、栄区の子育て支援、地区の子育て支援に関する情報共有、意見交換</p> <p>④ 過去一年間の改善点 連絡会で各所属機関が関わった事例や現状の共有を行った。</p>	<p>全体会： 年1回</p> <p>地区別連絡会： 年1回（笠間地区）</p>

課題3	＜子育て中の親への支援・支援が必要な家庭の早期把握＞ 地域での見守り・親への情報提供	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
こんにちは赤ちゃん訪問	<p>① 実施者・協働者 区役所、こんにちは赤ちゃん訪問員、分科会委員</p> <p>② 対象 生後4か月までの乳児がいるすべての家庭</p> <p>③ 実施内容 こんにちは赤ちゃん訪問が訪問し、地域の子育て情報を届け、地域での見守り活動を行う。</p> <p>④ 過去一年間の改善点 訪問時に届ける地域子育て情報の情報更新</p>	<p>年間訪問件数：756件（訪問率91.5%）</p>

課題	<リスクを抱える家庭への専門的支援> 関係機関の連携強化	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
専門家による早期対応	<p>① 実施者・協働者 区福祉保健センター保健師、助産師、社会福祉職等</p> <p>② 対象 主に妊娠期、乳幼児時期の子ども及び養育者</p> <p>③ 実施内容 ・母子健康手帳交付時の看護職による全数面接 ・母子訪問時のEPDS実施 ・EPDS高得点者及び育児不安を抱える養育者の支援 ・児童虐待に対する早期対応、支援等</p> <p>④ 過去一年間の改善点 関係機関との連携による児童虐待対応</p>	<p>母子訪問員による第1子への訪問実施件数：350件、77.3%</p> <p>EPDS実施件数：374件</p> <p>児童虐待対応件数：48件</p> <p>個別ケース検討会議実施数：74件</p>

高齢者安全対策分科会

課題1	<高齢者の転倒・転落事故が多い> 高齢者の体力の維持	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
元気づくりステーション支援	<p>① 実施者・協働者 分科会委員、元気づくりステーションリーダー、区役所</p> <p>② 対象 元気づくりステーション所属メンバー</p> <p>③ 実施内容 持続的な活動ができるように研修等の支援や転倒予防体操の普及</p> <p>④ 過去一年間の改善点 転倒予防の意識の醸成、転倒予防体操の普及</p>	<p>グループ数：15 参加人数（延べ）：16,802人</p> <p>・一部のグループで、普段の活動において、転倒予防体操を実践した。</p>
転倒予防に資する取組推進	<p>① 実施者・協働者 高齢者安全対策分科会委員、区役所</p> <p>② 対象 元気づくりステーション、筋トレ自主会、地域ケアプラザ講座等</p> <p>③ 実施内容 転倒予防の重要性や転倒予防体操実技の啓発</p> <p>④ 過去一年間の改善点 転倒予防体操の開発により、体系的な啓発が可能になり、啓発対象も拡大した。</p>	<p>・転倒予防リーフレット配布数：1800枚</p> <p>・転倒予防体操に取り組んだ人：1524人</p>

課題2	＜高齢者の転倒・転落が多い＞ 住環境の改善	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
住環境改善の普及啓発	<p>① 実施者・協働者 高齢者安全対策分科会、栄消防署、区役所</p> <p>② 対象 転倒予防出前講座等受講者</p> <p>③ 実施内容 簡易に改善ができる住環境の改善等を提案</p> <p>④ 過去一年間の改善点 既存のパンフレットを使用し、新たに転倒予防の一部に取り入れた。</p>	住環境改善リーフレット配布数：383部

課題3	<高齢者の冬場の溺死・溺水件数が多い> ヒートショック対策	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
ヒートショック予防の普及啓発	<p>① 実施者・協働者 高齢者安全対策分科会、区役所</p> <p>② 対象 ヒートショック出前講座受講者、分科会委員所属団体、区民まつり・イベント等来場者</p> <p>③ 実施内容 リーフレットやパネルを活用したヒートショック対策の説明</p> <p>④ 過去一年間の改善点 区民まつりなど多数の人が集まる場で啓発を行った</p>	<p>リーフレット 配布数：14,250部</p> <p>出前講座等参加人数（延べ）：1,869人</p>

災害安全対策分科会

課題1	<地域防災拠点の課題> 学校との連携・実践的な訓練の必要性	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
実践的な防災拠点訓練の実施	<p>① 実施者・協働者 分科会委員、地域防災拠点運営委員、区役所</p> <p>② 対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災拠点運営委員 ・拠点訓練参加者（区民） <p>③ 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災拠点訓練への参加者増加のための啓発 ・実践的な訓練内容へのシフトの推奨 <p>④ 過去一年間の改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災拠点訓練においては、運営訓練に主眼をおいてもらうべく、その周知を地域防災拠点連絡協議会以外にもさまざまな場面で行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的な訓練内容を取り入れる拠点数の増加 ・拠点訓練で連携する児童・生徒数の増加

課題2	<災害時要援護者支援の必要性> 訓練を実施しているのは一部のみ	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
災害時要援護者支援の取組拡大	<p>① 実施者・協働者 区役所、自治会・町内会</p> <p>② 対象 自治会・町内会</p> <p>③ 実施内容 自治会・町内会が実施する災害時要援護者避難支援訓練に対して、経費の一部を補助</p> <p>④ 過去一年間の改善点 比較的取組が進んだ自治会・町内会が、避難訓練を活用して地域の顔と顔の見える関係づくりを深化させること及びより多くの自治会・町内会に取組を拡大することを目的に、補助金を新設</p>	<p>補助金を交付し、訓練を実施した自治会・町内会数：4自治会・町内会</p>

課題3	より身近な避難所の必要性	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
地域避難所の設置及び訓練実施	<p>① 実施者・協働者 自治会・町内会、分科会委員</p> <p>② 対象 ・自治会・町内会</p> <p>③ 実施内容 ・地域避難所選定の推奨</p> <p>④ 過去一年間の改善点 自治会、町内会での防災講演等を通じて、地域避難所の選定についても啓発を行った。</p>	地域避難所選定箇所数：55箇所

自殺予防対策分科会

課題1	自殺問題への理解と自殺予防の必要性啓発	
プログラム	対策内容 (この1年間で変更した点は「赤字」で)	2016年度の実績・成果
啓発活動の展開	<p>① 実施者・協働者 分科会委員、委員の所属する団体の職員、利用者、区役所</p> <p>② 対象 通勤通学者、一般区民</p> <p>③ 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前（早朝・夕方）で啓発グッズ配布 ・ 図書館での企画展 ・ 他事業での説明、パンフレット配布 <p>④ 過去一年間の改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施駅の拡大及び近隣市との同日開催 ・ 時間帯の拡大（学生等若年の帰宅時間にも実施） 	<p>本郷台駅前キャンペーン（早朝）：3,500人対象</p> <p>大船駅キャンペーン（夕方）：1,000人対象</p>

課題2	自殺予防の担い手育成	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
ハートフルサポーター	<p>① 実施者・協働者 区役所精神保健福祉相談員</p> <p>② 対象 栄区役所職員のうち、ア 転入者、イ 研修を受けていない者</p> <p>③ 実施内容 全国、横浜市、栄区における自殺の現状、自殺予防対策の概要、具体的な対応方法</p> <p>④ 過去一年間の改善点 前年度の実施後のアンケート結果などを反映し、具体的な対応方法について内容を厚くした。</p>	<p>6月2回実施 合計46人参加</p> <p>効果測定の正答率： 実施前76%→ 実施後93%</p>

課題3	自殺のハイリスク者への介入	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
<p>ハイリスク者への支援強化</p>	<p>① 実施者・協働者 自殺予防対策分科会委員の属する機関職員等</p> <p>② 対象 ア：栄区内医療・福祉等事業者 イ、ウ： 栄区民</p> <p>③ 実施内容 ア：メンタルヘルス支援ネットワーク会議、メンタルヘルス従事者専門研修の実施による、参加者のスキルアップ イ： 栄区ころといのちのホットライン（H29年3月で終了） ウ：ハイリスク者支援検討部会の立ち上げ</p> <p>④ 過去一年間の改善点 栄区ころといのちホットラインの検証と終了。より実効性のあるハイリスク者支援についての検討を開始。</p>	<p>メンタルヘルス従事者専門研修：6月 メンタルヘルス支援ネットワーク：7月、10月、H29年2月</p> <p>ハイリスク者支援検討部会：9月、12月</p> <p>栄区ころといのちのホットラインの検証に基づき終了。警察、消防、医療、福祉機関等によるハイリスク者検討部会を立ち上げ、ハイリスク者支援のターゲットを自殺未遂者に絞り、検討を進めていく方向性を決定。</p>

防犯対策分科会

課題	振り込め詐欺の増加	
プログラム	対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で）	2016年度の実績・成果
振り込め詐欺の被害者層への啓発実施	<p>① 実施者・協働者 自治会・町内会、栄防犯協会、栄防犯指導員連絡協議会、栄区商店街連合会、栄区消費生活推進員の会、栄警察署、分科会委員、区役所</p> <p>② 対象 高齢者</p> <p>③ 実施内容 講座・講演による振り込め詐欺の啓発、金融機関での声掛け、街頭キャンペーン等の啓発、防犯情報配信</p> <p>④ 過去一年間の改善点 電話付近に貼付可能な注意喚起シールを作成し、啓発活動時に配布</p>	<p>講座・講演による振り込め詐欺の啓発件数：35回</p> <p>金融機関での声掛け回数：6回</p> <p>街頭キャンペーン等の啓発：5回</p> <p>防犯情報配信：102回</p>